


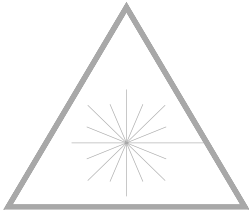




9000 Series Installation and Operation Manual Model 9225D

光ファイバビデオ&データ、音声、接点信号送受信器
取扱説明書 Ver.1.0.0

安全にお使いいただくために

この製品はクラス 1 のレーザまたは LED 光を発生します。以下の注意書きを良く読んでご利用ください。

	<p>装置に電源が投入されている状態で、光ファイバーコネクタの抜き差しを行わないでください。電源が投入されたままコネクタを外すと、クラス 1 相当の不可視光線を浴びる恐れがあります。</p> <p>各装置には下記の危険シールが貼られています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="553 583 972 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>DANGER</p> <p>Invisible Laser Radiation</p> <p>When Open AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.</p> </div> <div data-bbox="1016 573 1263 783">  </div> </div>
	<p>この取扱説明書で説明されている本来の目的以外の方法で本装置を使用したり、調整手順で示された以外の調整を行うことは光線により目等に損傷をうける可能性があり大変危険です。</p> <p>ほんの数秒でも目や皮膚に大きな損傷を受ける可能性がありますので十分に注意してください。</p>
	<p>この装置には、静電気により故障する可能性がある部品が使用されています。この装置を使用する際には静電気を与えることがないように注意してください。</p>

目次

1	はじめに.....	3
1.1	概要.....	3
1.2	9225DT のパネルと各部の名称.....	4
1.3	9225DR のパネルと各部の名称.....	5
1.4	9225D の操作と設定.....	6
1.5	9225D の接続構成例.....	9
1.6	トラブルシューティング.....	9
1.7	仕様.....	10
1.8	外形寸法図.....	11

1 はじめに

1.1 概要

TKH 社製 9225D シリーズ光ファイバ送受信器は、1 チャンネルのコンポジットビデオ信号とカメラコントロールなどに使用可能な双方向データチャンネルを画質劣化の少ない 9 ビットデジタル変調で一本の光ファイバで長距離延長するための送受信器です。

9225D シリーズは専用ラックに装着して利用する 9221D シリーズのスタンドアローン型です。

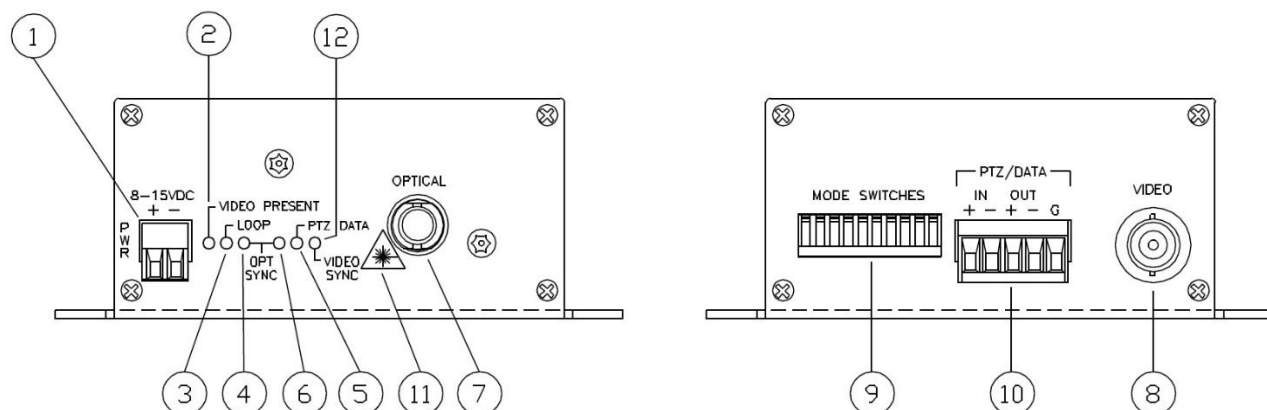
用途、延長距離に応じてシングルモードタイプとマルチモードタイプがあり、シングルモードタイプでは最大 57km の信号延長が可能です。

また、使用温度範囲 -40°C から $+74^{\circ}\text{C}$ 、使用湿度範囲 0 から 95%と屋外などの使用環境にも対応します。

9225D シリーズはカード型の 9221D と互換性があり、相互に通信が可能です。

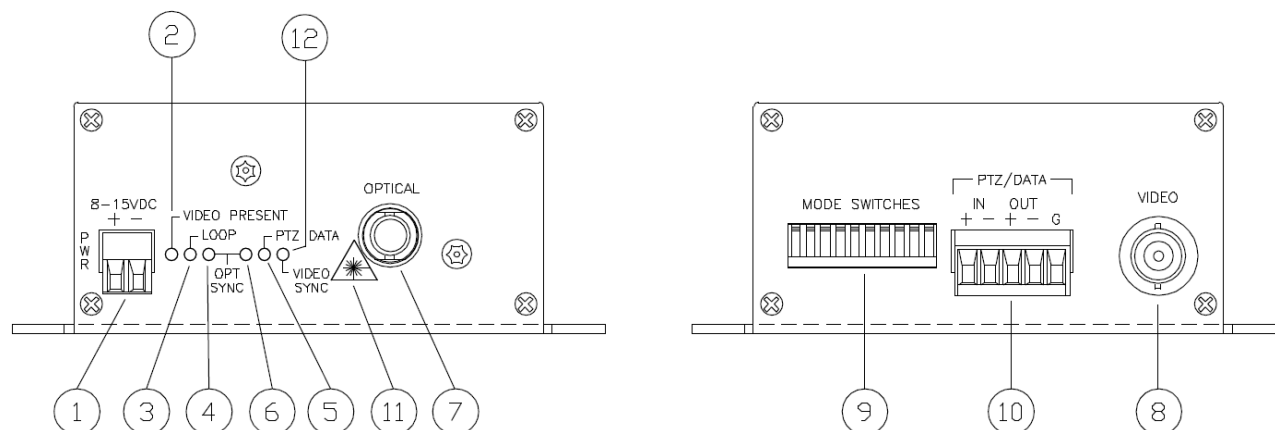
9225DT/DR は 8 ～ 15 V DC で駆動します。純正の対応電源アダプタは 100 V 電圧の場合 9014PS-JII をご利用ください。

1.2 9225DT のパネルと各部の名称



- ① 電源コネクタ
電源入力コネクタです。極性の表示にしたがって適合する電源を接続してください。
- ② VIDEO PRESENT (LED)
ビデオ入力コネクタにビデオ信号が検出されたときに緑色に点灯します。
- ③ LOOP (LED)
対向する受信器が送信器に対して同期が取れているときに緑色に点灯します。
- ④ SYNC (LED)
受信器との同期状態を示す LED です。 LOOP (LED) との組み合わせで通信に問題がある場合の確認のために使用します。詳しくはトラブルシューティングの章を参照してください。
- ⑤ PTZ (LED)
データポートに信号を受信していることを示す LED です。受信時に緑色に点滅します。
- ⑥ SYNC (LED)
対向する機器と同期が取れていないことを赤色の点灯で示します。
- ⑦ 光出力コネクタ
光ファイバを接続します。
- ⑧ ビデオ入力コネクタ
ビデオ入力信号を接続する BNC コネクタです。
- ⑨ 内蔵データポート用モード設定スイッチ
内蔵データポートの通信モードを設定するためのスイッチです。
- ⑩ 内蔵データポートコネクタ
内蔵データ通信ポートの入出力コネクタです。
- ⑪ IEC レーザー警告ラベル

1.3 9225DR のパネルと各部の名称



- ① 電源コネクタ
電源入力コネクタです。極性の表示にしたがって適合する電源を接続してください。
- ② VIDEO PRESENT (LED)
送信器のビデオ入力コネクタにビデオ信号が検出されたときに緑色に点灯します。
- ③ LOOP (LED)
対向する送信器が受信器に対して同期が取れているときに緑色に点灯します。
- ④ SYNC (LED)
送信器との同期状態を示す LED です。 LOOP (LED) との組み合わせで通信に問題がある場合の確認のために使用します。詳しくはトラブルシューティングの章を参照してください。
- ⑤ PTZ (LED)
データポートに信号を受信していることを示す LED です。受信時に緑色に点滅します。
- ⑥ SYNC (LED)
対向する機器と同期が取れていないことを赤色の点灯で示します。
- ⑦ 光出力コネクタ
光ファイバを接続します。
- ⑧ ビデオ出力コネクタ
ビデオ出力信号を接続する BNC コネクタです。
- ⑨ 内蔵データポート用モード設定スイッチ
内蔵データポートの通信モードを設定するためのスイッチです。
- ⑩ 内蔵データポートコネクタ
内蔵データ通信ポートの入出力コネクタです。
- ⑪ IEC レーザー警告ラベル

1.4 9225D の操作と設定

9225D の動作のために必要な操作は以下のとおりです。

- 内蔵データ通信ポートのスイッチ設定を行います。モジュールの種類に応じて次章以降の取り扱い説明を参照し、設定を行ってください。
- 選択したモジュールに合わせてケーブルを接続します。
- 送信器のビデオ入力と、受信器のビデオ出力コネクタに適合するケーブルで機器を接続します。
- 適合する光ファイバで送信器と受信器を接続します。
- 電源入力を接続し、電源を投入します。

内蔵データ通信ポートの設定

内蔵データ通信ポートの設定は 9225DR のパネルと各部の名称 (5 ページ)⑨の内蔵データポート用モード設定スイッチで設定します。以下の表を参考に設定を行ってください。

内蔵データ通信ポートディップスイッチの設定

9225D モジュール設定スイッチ										
スイッチ番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
RS232	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	-	-	OFF	ON	OFF
RS422	OFF	OFF	ON	ON	ON	T	T	ON	OFF	ON
RS485(2 線式)	ON	ON	OFF	ON	ON	T	T	ON	OFF	ON
RS485(4 線式)	OFF	ON	OFF	ON	ON	T	T	ON	OFF	ON
マンチェスタ	ON	ON	ON	OFF	OFF	T	T	ON	OFF	ON
不使用	OFF	OFF	OFF	-	-	-	-	-	-	-

“-”: どちらに設定されていても影響しません。

“T”: 入力終端設定です。ON にすると終端されます。OFF にすると終端が OFF になります。

終端について

通常の一対一の通信では終端を ON にして使用してください。

RS422、RS485 およびマンチェスタ通信方式では、複数の装置を平行に接続して通信を行うことが可能です。一般的には一台の送信器に対して、複数の受信器に同じ信号を送るケースがあります。このような場合には平行バスは適正なインピーダンスで終端されなければなりません。下記の法則にしたがって終端を行ってください。

RS422 及び RS485

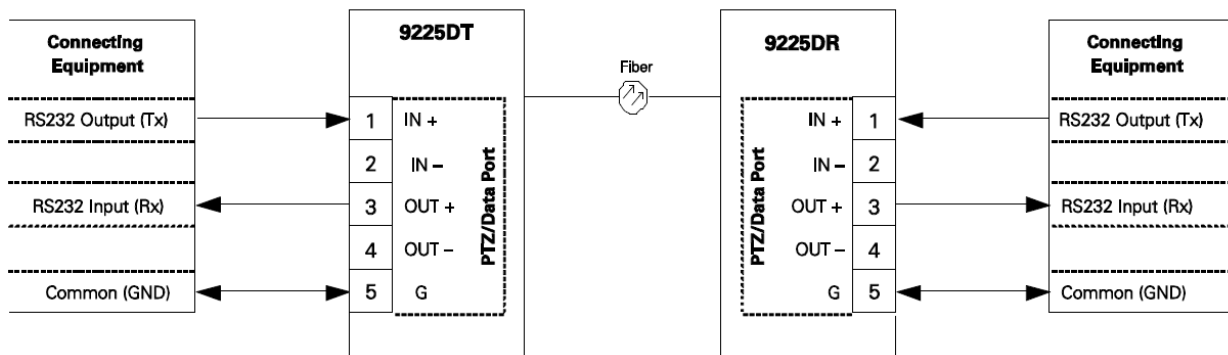
最後の入力端末だけを終端します。その他の端末は終端しません。

マンチェスタ

5 台以下の場合には最後の端末だけを終端します。それ以上の場合には全ての端末を終端しません。

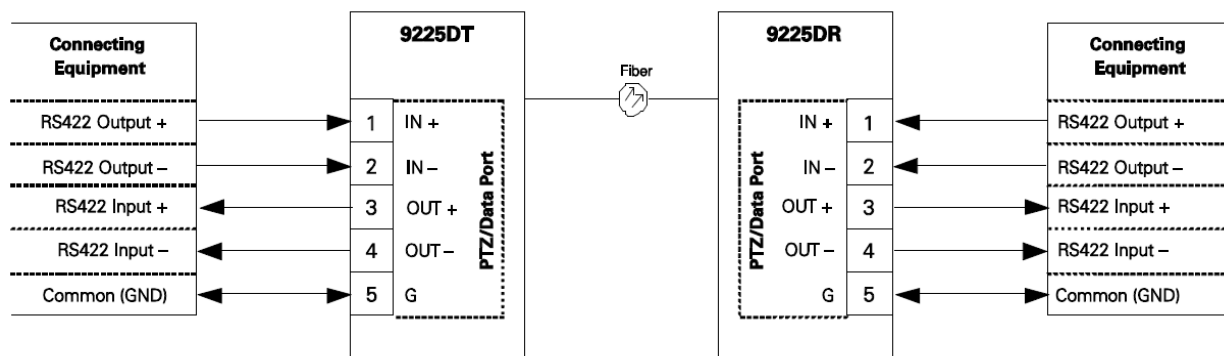
結線方法

■RS232 接続



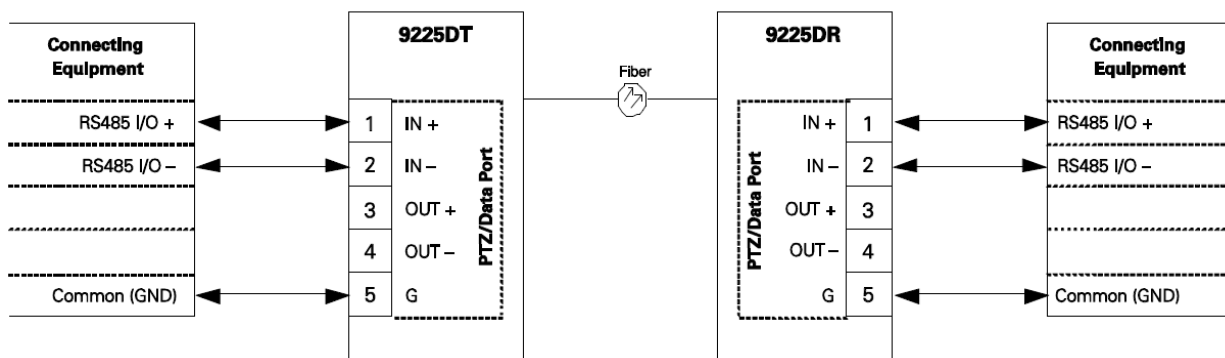
(矢印の向きは信号の流れを示しています。)

■RS422 及び RS485 (4線式)



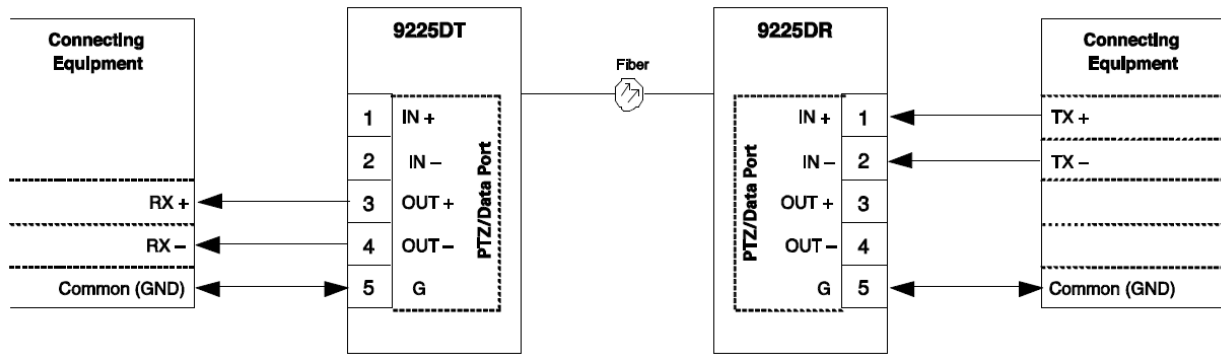
(矢印の向きは信号の流れを示しています。)

■RS422 及び RS485 (2線式)



(矢印の向きは信号の流れを示しています。)

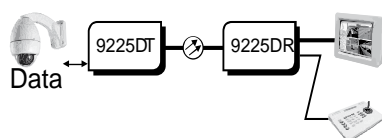
■ マンチェスタ通信



(矢印の向きは信号の流れを示しています。)

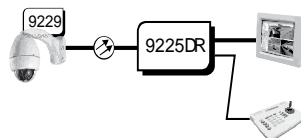
1.5 9225D の接続構成例

Stand-alone



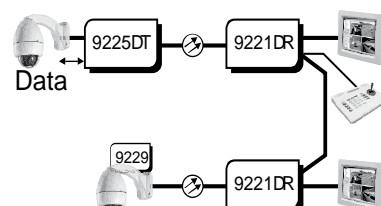
1x Video
1x Data

Pelco Spectra Dome



1x Video
1x Data

Rack-mount Receiver



1x Video
1x Data

Video 1x
Data 1x

1.6 トラブルシューティング

9225DT/DR の動作がおかしい場合、ステータスインジケータの表示を確認することで問題を確認することができます。一般的に問題の検証は送信器側からスタートします。

ビデオ信号を入力し、**VIDEO PRESENT** のインジケータが緑色に点灯することを確認します。**LED** が点灯しない場合は信号源、接続ケーブルを確認します。

つぎに受信器側です。**SYNC** が赤く点灯している場合は、光入力端子に適正な光信号が入力されていないことを示しています。ファイバの接続を確認し光の伝送損失が機器の許容する範囲内であることを確認してください。

LOOP 信号が点灯していない場合は、対向する装置(光ファイバの反対側)に適正な光信号が入力されていないことを示しています。ファイバの接続を確認し光の伝送損失が機器の許容する範囲内であることを確認してください。

SYNC が点灯しているのに **TX Video** が点灯していない場合は、送信器に正しいビデオ信号が入力されていない可能性があります。もう一度送信器に入力された信号とケーブルを確認してください。

1.7 仕様

モデル	MM	MM	MMH	MMH	SM
ファイバサイズ	50/125	62.5/125	50/125	62.5/125	09/125
送信器光出力 (dBm)	-21	-17	-7	-7	-7
送信器光出力波長 (nm)	1310	1310	1310	1310	1310
受信器光感度 (dB)	-27	-27	-30	-29	-30
送信器光バジェット (dB)	6	10	23	22	23
受信器光出力 (dBm)	-21	-17	-7	-7	-7
受信器光出力波長 (nm)	850	850	1550	1550	1550
送信器光感度 (dB)	-34	-34	-30	-30	-30
受信器光バジェット (dB)	17	21	23	23	23
最大延長距離 (km)	3	6	19	19	57

最大延長可能距離は 62/125 ファイバ使用時、波長 850 nm のとき、3.0 dB/km、波長が 1310 nm の時-1.0 dB/kmとして計算しています。
また、シングルモードの場合は、波長 1310 nm のとき 0.35 dB/km、波長 1550 nm のとき、0.25 dB/kmとして計算しています。
光拡散の無いファイバの使用を前提にしています。(1310 nm において、散布ゼロ)
※別売りの AC アダプタは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

ビデオ通信部

ビデオフォーマット	NTSC, PAL
ビデオレベル	1 Vp-p, 75 Ω
ビデオサンプリングレート	16.0 MHz、9ビット
ビデオ帯域	6.5 MHz (-3 dB)
ビデオコネクタ	BNC コネクタ
ディファレンシャルゲイン	1.0%
ディファレンシャルフェーズ	0.7°
SN 比 最大	63 dB 光入力

データ通信部

完全双方向、最大 115.2 Kbps、ディップスイッチの設定により RS232、RS422、RS485 (2 線式または 4 線式) 及びマンチェスタ方式 (Burle and American Dynamics 規格) の通信に対応

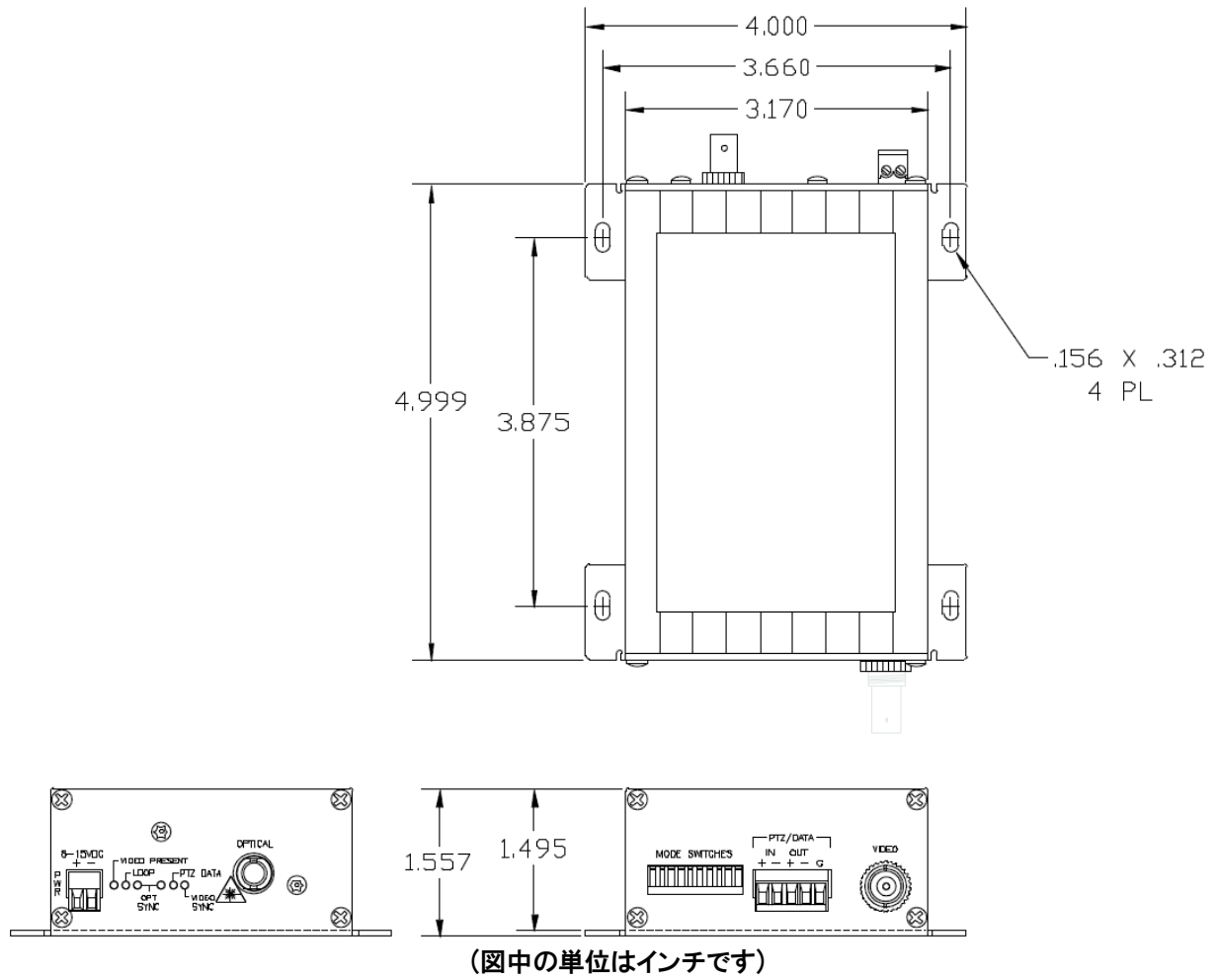
電源部

入力電圧	8 ~ 15 V DC
電流	
9225DT	250 mA @ 9 V DC 240 mA @ 12 V DC 230 mA @ 15 V DC
9225DR	290 mA @ 9 V DC 270 mA @ 12 V DC 260 mA @ 15 V DC

環境的仕様

使用温度範囲	-40 °C ~ 74 °C
保存温度範囲	-55 °C ~ 85 °C
湿度範囲	0 ~ 95 % (但し結露無きこと)
外形寸法 (mm)	81.3 (W) x 127 (D) x 38.1 (H)

1.8 外形寸法図





株式会社アルバニクス
本社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>